

2016年(平成28年)2月20日(土曜日)

# 丸久、バンダラに営業所

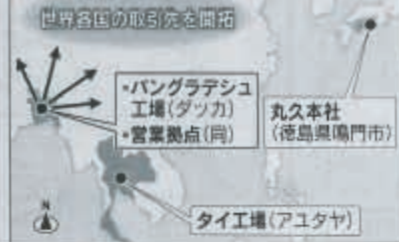
## アパレル製造受託 海外ブランドを開拓

アパレルメーカーの丸久(徳島県鳴門市)は、欧米など海外向けの販売を本格化する。バンガラデシュに新設した営業所を拠点に、同国に事務所などを置く各国のアパレルブランドからの製造受託を目指す。世界各地で開かれる商談会にも出展する。これまでは国内企業との取引が中心だったが、日本市場の成長性には限界があるとみて海外市場の開拓を急ぐ。

海外の商談会にもバンガラデシュから出展する  
(香港での出展ブース)



バンガラデシュから世界に営業をかける



世界各国の取引先を開拓

人服や子供服を生産している。新設した営業所はダッカ市に立地し、従業員2人が営業活動に専念する。企画から生産まで一貫で手掛けられる点や、多品種少量生産に対応できる点を売り込む。機能性素材の扱いに長けた日本企業とのつながりも強みになるとみている。バンガラデシュは人件費の安さから衣料品の輸出大国に成長した。国際的なアパレルブランドが多く拠点を構え、工場を探しに訪れる場合も多くとらえて安価に提供す

る。「今や顧客はダッカにいて(立石雅浩社長)といい、営業拠点を置くのに最適と判断した。商談などで商品サンプルが必要な時は工場から取り寄せることができる。海外で開催される商談会にはバンガラデシュの営業所から出展する。すでにロシアやフランス、香港などに出席。今後は英国や米国などの商談会に参加する。流行を素早く提供す

る、欧米などの大手SPA(製造小売り)ブランドとの取引を目指す。バンガラデシュ工場は今後も増設を続けていく計画で、現在2500人の従業員を3〜4年後に約2倍に増やす。増強した生産能力のうち、半分を海外市場向けに振り向ける。現在は5%程度の海外向け販売を、2年後には25%前後に高めたい考え。

同社は子供服や紳士・婦人服を手掛け、カットソーに強みを持つ。バンガラデシュとタイに工場を持ち、日本の本社は開発工場の役割を担っている。2016年3月期の連結売上高は100億円強の見通し。海外向け販売を伸ばすことなどで、19年3月期の連結売上高は150億円程度を目指す。